

全国保健師長会 栃木県支部だより

発行
全国保健師長会
栃木県支部
令和5年8月吉日
第43号



支部長あいさつ

支部長 菊地 幹（栃木県安足健康福祉センター）

地球温暖化による気候変動や猛暑が続いておりますが、皆様いかがお過ごしですか。

日頃より、保健師長会栃木県支部活動に御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

約3年間という長い期間、一丸となって対策に取り組んできました「新型コロナウイルス感染症」については、5月連休明けに感染症法上5類に移行しました。会員の皆様におかれましては、新たな感染症への不安がある中、住民に寄り添いながら保健師活動に尽力されてきたことに敬意を表します。

しかし、新型コロナウイルス感染症がなくなったわけではなく、入院調整支援やクラスター施設等への対応、ワクチン接種等は継続されているところです。今後、いつどのようなアウトブレイクがあるか分かりませんが、今回の経験を糧として、今後の健康危機に対処できるようにしていく必要があります。

一方で、コロナ禍におけるBCPや感染リスクの観点から止まっていた業務を再開したり、アフターコロナの新たな課題に取り組んでいく必要もあります。コロナ前を知らない保健師も多くいる中、OJTの内容も多岐に渡り後輩育成も大変ですが、この機会に保健師活動の原点に立ち返って、新たな視点で業務を整理できればと思います。

また、地域保健法をはじめ、保健師活動に直結した様々な分野の法律が次々と改正され、各分野において各種計画の評価・策定も目白押しです。「追いついていけるのかな(^_^;)…」と日々不安なところですが、住民の健康と生活を守る保健師として地域の実情と課題を反映できるよう、行政職をはじめ地域の仲間の力も借りながら参画していきましょう。

さて、この5月には、支部総会及び研修会を集合形式で無事に開催することができました。御意見・御協力ありがとうございました。詳細は、本誌に報告させていただきます。



皆様も疲れが取れなくて、体調的にしんどい日はありませんか？業務を優先せざるを得ないことも多々ありますが、所属での中核的役割・頼れる立場である皆様が体調を崩さないよう、御自愛ください。今後も、情報交換や交流の場を通して、会員の皆様が所属を超えてつながれるよう活動していきたいと思っておりますので、御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

保健師として育ち合いのできる環境づくりを目指して

栃木県保健福祉部保健福祉課 長野 泰恵

栃木県の行政保健師数は、令和5年4月1日現在、県128名、市町516名の計644名で、うち新規採用職員は41名です。2016年以降の市町採用者の採用時年齢を見ると6割以上が社会人経験者であり背景の多様化が進んでいます。また、就職後数年での離職者も見られるようになり、採用後の人材育成に悩まれていることと思います。

昨年度に全国保健師長会が実施した「自治体における新規採用保健師の人材育成にかかる実態および体系的な研修体制の構築にかかる調査」結果では、ひとり一人の保健師に寄り添い承認する職場風土の醸成等、自治体としての体系的な人材育成体制構築に向けたポイントが示されました。是非、報告書を再確認いただき、現任教育の体制づくりに役立ててください。

本県においても栃木県保健師現任教育指針（令和2年3月改訂）で示す、めざすべき保健師像「みる力」「実践する力」「広げる力」のキーワードを共有し、地域の特性を踏まえた保健師活動が展開できるよう、研修体制の充実や統括保健師等会議による情報共有等に取り組んで参りたいと考えております。

10年後、20年後もここに就職して良かったと実感できるよう、お互いに分かち合い、育ち合いのできる環境づくりを目指しましょう！！



母子保健の動向 ～健やか親子21全国大会に向けて～

栃木県保健福祉部こども政策課 舘脇 悦子

令和4(2022)年の人口動態統計において、本県の合計特殊出生率が1.24と過去最低を更新しました。こうした少子化の進行に加え、核家族化や子育て家庭の孤立、児童虐待の増加など、母子保健を取り巻く環境は大きく変化しています。

少子化の流れの反転や複雑化する子どもの社会課題の解決に向け、複数の省庁が縦割りで担ってきた子ども政策を一元的に取り扱う司令塔機能として「こども家庭庁」が発足し、市町においても「こども家庭センター」の設置に向け準備を進めていることと思います。同センターでは、保健師としての専門的知識や予防的な視点、マネジメント能力が求められています。今まで培ってきた保健師として能力を発揮いただけることを期待しております。県としても、妊娠・出産、子育て期までの切れ目ない支援に向け取り組んで参りますので、御協力をお願いします。

また、11月9日～10日には、「健やか親子21全国大会」を栃木県総合文化センターで開催予定です。「健やか親子21」が第2次成育医療等基本方針に基づく国民運動として位置づけられて初めての大会であり、先駆的な母子保健の取組を学び、全国から来県される母子保健関係者と交流を図れる貴重な機会でもあります。皆様の御参加をお待ちしています。



全国保健師長会北関東甲信越ブロック支部長会議 報告

- 6月24日に開催された全国保健師長会北関東甲信越ブロック支部長会議では、令和5年度活動方針が示されました。活動テーマは「変わりゆく地域の健康課題に対峙する公衆衛生看護活動の展開～”誰ひとり取り残されない”保健師活動の転換期を仲間とともに乗り越える～」です。また、代議員総会は11月18日(土)に長野県で開催される予定です。詳細は、全国保健師長会ホームページを御覧ください。
- 北関東・甲信越ブロック研修会は、9月2日(土)に群馬県で開催されます。群馬県外の会員はオンライン参加となります。先進事例集が作成されることになり、当支部からは3所属の「保健師活動レポート」が掲載されます。後日、改めて情報提供させていただきます。

令和5年度 全国保健師長会栃木県支部総会 報告

先般ご案内いたしました全国保健師長会栃木県支部総会を、5月13日(土)にとちぎ健康の森にて、34名の会員の参加のもと無事終了いたしましたことを御報告いたします。御参加いただきました会員各位には改めて感謝申し上げます。今後とも引き続きの御協力を賜りますよう、お願いいたします。



新：R5新任

令和5年度 会員加入状況及び役員 紹介

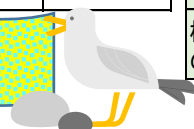
〈全国保健師長会加入状況〉

	県(人)	市町(人)	計(人)
平成28年度	51	102	153
平成29年度	49	112	161
平成30年度	47	112	159
令和元年度	44	108	152
令和2年度	45	109	154
令和3年度	41	111	152
令和4年度	41	109	150
令和5年度	35	108	143

〈役員紹介〉

職名	氏名(所属)
支部長	菊地 幹(安足健康福祉センター)
副支部長	生井 明美(下野市)
副支部長 新	太田 由希子(県東健康福祉センター)
書記 新	小野澤 典子(安足健康福祉センター)
会計 新	渡辺 理子(矢板市)
監事	杉山 佐千子(宇都宮市)
本部広報委員	鈴木 祐美(県障害福祉課)
本部調査研究委員	福原 円(小山市)
健やか親子特別委員	星野 典子(県北健康福祉センター)
栃木県看護職員確保対策委員会	杉山 佐千子(宇都宮市)
栃木県保健師現任教育のあり方検討会委員	菊地 幹(安足) 生井 明美(下野市)

御入会お待ちしております。



令和5年度 全国保健師長会栃木県支部第1回研修会 報告



日時：令和5（2023）年5月13日（土）午後2時～4時

会場：とちぎ健康の森 大会議室

参加者：34名

御講演：「統括保健師の位置づけを獲得し、効果的に役割を発揮していくには」

講師 茨城県総務課総務事務センター 技佐 田邊 好美 氏

1) 話題提供 「統括保健師配置の経緯等について」 足利市 大田原市

2) 情報交換 「統括保健師についての理解を広げ、役割を発揮していくためにどのような取組が必要か」

御講演から

講師の田邊先生からは、茨城県における統括保健師の活動や保健師人材育成体制等について教えていただきました。

人事交流で町に派遣された際の統括保健師の配置に向けての活動の御経験や、災害時の保健師活動等とおした人材育成に対するお話等から、力強いメッセージをたくさんいただき、「管理期保健師としてあるべき姿」について改めて考える機会となりました。

○統括保健師配置により期待できること

- ・組織（課）の枠を超えて、保健活動がより推進されるようリーダーシップを発揮できる。
- ・組織（課）の枠を超えて、専門的側面からの助言・指導ができるような体制ができる。
- ・保健師の人材育成の責任者が明確になり、人材育成が業務として行える。
- ・保健師の専門的技術・マインドの伝承ができる。

○自治体の中で、保健師のリーダーが明確になり、他部局との連携・協力がしやすくなり、頼りにされる。

自分たちの自治体、その住民のために統括保健師を配置するという覚悟！

覚悟をもってリーダーになる！！

そして、各保健師が育ち、より良い保健師活動ができるような環境づくりをしていく。

そのために、統括保健師は必要！！



話題提供 各市の統括保健師配置の取組をお話しいただきました

足利市 小倉優子さんより

平成 20 年 統括的保健師配置
平成 24 年～「保健師長会議」を開催
課題検討・研修企画を行っている
令和 4 年度 統括保健師が事務分掌に位置付け
保健師長会議 4 部会で活動
(災害・研修・キャリアラダー・健康課題)
令和 5 年度 2 部会で活動 (災害・人材育成)



このほか、キャリアラダー目標達成活用シートを活用した面接結果を所属の保健師長又は統括保健師が所属課長に報告し、統括保健師は保健師長との面談結果を人事課に報告する等、組織的な人材育成の体制を構築した。

大田原市 小倉恵子さんより

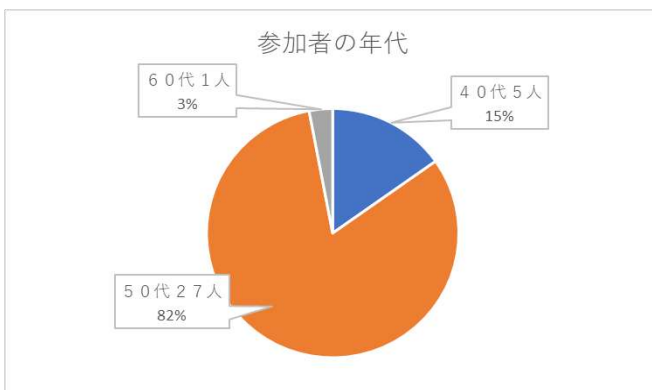
平成 28 年度に横断的に組織内の総合調整が必要であること、専門職の窓口の一本化を図ることをも含め、健康増進部門に「保健師等の業務連携及び調整に関すること」を事務分掌に記載され、統括的保健師が位置付けられた。定例会を主催し、全保健師を対象に情報共有と現任マニュアルを用いて、専門職としての人材育成を行っている。



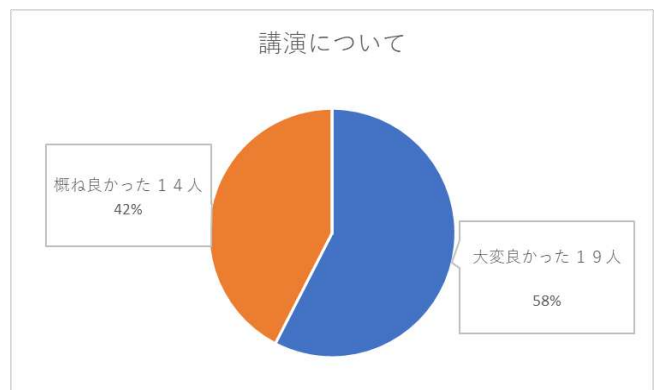
専従ではないので負担は大きいですが、統括保健師を位置づけたことにより、組織内の連携や他部門への申し入れ等がしやすくなる等の効果が得られている。

アンケート結果（回収数 33）

1. 年代



2. 講演の感想



参加者の感想から

- 統括保健師の役割について再認識できた。
- 人事交流の話や実際にやってこられたことをうかがうことができ参考になった。
- 保健師魂をお持ちの先生のお話が新たな活力になった。
- 保健師マインドを言葉にして伝承していく。
- 保健師活動に自信が持てるようメッセージを送り続ける。
- 目指す保健師像を言葉にすることを実践していきたい。
- 茨城県のことはもちろん、他市町の現状がわかり参考になった。
- 他市の統括保健師の現状がわかった。 ・もう少し先輩方の話を聞きたかった。
- 「統括保健師」一人で頑張っていくのではなく、保健師のみんなで協力をしていく土壌を作りたい。
- 日頃から、統括保健師と統括補佐や各保健師が協働で考え動いていくことが重要。
- 保健師活動を事務方の上司や所属の他部署・他職種に報告することで、自治体保健師の役割を理解してもらい、保健師が働きやすい、保健師が力を発揮できる環境を作りたい。
- 俯瞰的に保健師の活動全体を把握し、保健師人材育成や災害時保健活動を推進、けん引するのだという責任を感じた。
- 「住民」「仲間の保健師のため」と考えて判断する自分、そして目指す保健活動を共有している仲間を信じて、意思決定できる統括保健師になりたい。



◆お知らせ◆



令和5年度北関東・甲信越ブロック研修会

日時 9月2日(土)

会場 群馬県高崎市総合保健センター

(ハイブリッド開催・群馬県外の会員等は、オンライン参加)

内容

• 全国保健師長会活動報告及び研究報告

• 保健師活動実践報告

• グループワーク「保健師活動の転換期における人材育成

～原点を見直し、これからを考える～」



栃木県支部第2回研修会

日時 9月23日(土) 13:30～

会場 とちぎ健康の森 大会議室

テーマ 「災害発生!!」

～その時保健師はどう動いたか、動けばよかったか～

ホンネで
話そう!

●みなさまの御参加をお待ちしています●